

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
地上業務委員会(第30回) 議事概要 (案)

1 開催日時

平成26年6月4日(水) 14:30 ~ 16:20

2 場所

総務省1階 共用会議室4

3 出席者(敬称略、順不同)

[専門委員]

三瓶 政一(主査)、足立 朋子、飯塚 留美、川口 さち子、小泉 善子、阪田 史郎、
佐藤 孝平、松永 彰、中村 勝英、橋本 明、吉田 英邦

[関係者]

新 博行、菅田 明則、本多 美雄、藤本 賢一

[事務局]

森下、高橋、奥井

4 配付資料

資料地-30-1	地上業務委員会(第29回)議事要旨(案)
資料地-30-2	ITU-R SG5 WP5D第18回会合報告書
資料地-30-3	ITU-R SG5 WP5D第19回会合への日本寄与文書・情報提供文書(案)
資料地-30-4	ITU-R SG5 WP5D第19回会合への対処方針(案)

参考資料1	ITU-R SG5 WP5D第19回会合の開催案内
参考資料2	ITU-R SG5 WP5D第19回会合の日本代表団一覧
参考資料3	地上業務委員会構成員名簿
参考資料4	WP4Aに提出する寄与文書
参考資料5	Document 4-5-6-7/267

5 議事概要

(1) 地上業務委員会（第29回）の議事要旨について

【資料地-30-1】

地上業務委員会（第29回）の議事要旨について、事務局から説明があった。
なお、修正項目がある場合は6月11日（水）までに事務局へ連絡する旨了承された。

(3) ITU-R SG5 WP5D第18回会合の報告について

【資料地-30-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D第18回会合の報告があった。

(4) ITU-R SG5 WP5D第19回会合の日本寄与文書案について

【資料地-30-3-1】

新氏から「“IMT-2020”開発のための作業計画、タイムライン、プロセス及び文書に関する見解」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本委員：本件はNamingで2つのことを言っている。5Gのような名前と仕様の議論は避けるべきということと、2020年以降のIMTに呼び名が必要ということ。説明の順番が逆のほうがいいのでは。

新氏：前回の5D議論のとりまとめの趣旨として、5Dは5Gシステムについて名称を作る必要はあるか？という問題提起があり、5Gの名前の議論がはやめようと答えている。

三瓶主査：5Gについては会議の流れにのっているだけだと遅れをとる。いろいろなことを考えていかないといけない。

【資料地-30-3-2】

菅田氏から「“Global trends in IMT”へ向けた作業文書 [IMT. HANDBOOK]へのテキスト案及び改定案の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査：本Handbookについて現地の議論はどうか。

佐藤委員：本件は途中で議長が代わり、方向性がぶれて時間がかかっている印象である。

【資料地－30－3－3】

松永委員から「新勧告案[IMT-VISION]へ向けた作業文書に対する提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本委員：IMT for 2020 and beyondという用語が使われているが、これはvision勧告の用語か。

松永氏：その通りである。いろいろな用語がでてきて定義されていないので整理する必要がある。

三瓶主査：p. 15の図をみるとisolatedエリアはnew RATがないように見えるが、New RATが果たすべき役割があるのではないか。

松永氏：今後の検討課題とさせていただく。

【資料地－30－3－4】

新氏から「文書5D/605及び文書4-5-6-7/573のコメントに対する回答（地上系IMTの将来の周波数要求条件）」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施し、承認された。

【資料地－30－3－5】

藤本氏から「PDN Report M. [IMT. FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]作業文書の修正提案」について説明があり、特段の質疑はなく、承認された。

【資料地－30－3－6】

本多氏から「PDN Report M. [IMT. FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施し、承認された。

橋本委員：10月完成予定だが、完成度はどうか。今回作業文書から暫定新勧告案に文書ステータスをあげるのか。

本多氏：その通りである。完成度についてはセクションごとに細かい議論必要なところはある。

【資料地－30－3－7】

松永委員から「INTERIM VERSION OF ARIB WHITE PAPER, “MOBILE COMMUNICATIONS SYSTEMS FOR 2020 AND BEYOND”」に関する寄与文書案について説明があり、承認さ

れた。

橋 本 委 員：本件はmanagement teamでどのように扱うのか。

佐 藤 委 員：WG-GEN 及びWG-TECHに割り振り、紹介できるよう調整する。

(5) ITU-R SG5 WP5D第19回会合への対処方針案について

【資料地-30-5】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第19回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(6) その他

事務局より参考資料の説明があった。

修正の必要がある寄与文書については、6月6日（金）17：00までに事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨、説明があり、承認された。

以上